

仕 様 書

- 1 業務名
中工場外 2 工場ボイラー水検査業務
- 2 業務場所
 - (1) 中工場 広島市中区南吉島一丁目 5 番 1 号
 - (2) 安佐南工場 広島市安佐南区伴北四丁目 3 9 9 0 番地
 - (3) 安佐北工場 広島市安佐北区可部町大字中島 1 4 6 0 番地の 1
- 3 委託期間
契約締結の日から令和 9 年 3 月 3 1 日
- 4 実施要領
 - (1) 検査項目
別表 1（中工場）、別表 2（安佐南工場）、別表 3（安佐北工場）のとおりに。
 - (2) 検査方法
J I S B 8 2 2 4 ボイラーの給水及びボイラー水の試験方法に準拠して行うこと。
これに定めのない項目については、分析キットにより行う。
検査は、中工場、安佐南工場、安佐北工場の分析室において実施し、分析に必要な器材は発注者から提供する。
 - (3) 検査回数及び検体採取日
検査回数は、別表 1～3 の備考のとおりとし、検体採取日は別途協議して定めるものとする。
なお、検体採取は、施設の稼働状況により、実施月日を変更することがある。
 - (4) 検体採取
受注者が実施することとする。採取に当たっては、事故防止に万全を期すこと。
- 5 現場責任者
受注者は契約締結後、広島市委託契約約款第 8 条に基づき選任した現場責任者の氏名をすみやかに発注者に対し報告するものとする。
現場責任者に変更があったときも同様とする。
- 6 報告
 - (1) 広島市委託契約約款第 1 2 条に定める委託業務実施報告書は、次の事項を記載した報告書とし、検体採取日に検査した場所へ報告書を提出するものとする。
また、発注者へは、各工場において検査した月の最終検体採取日から 7 日以内に各工場毎の 1 ヶ月分の報告書を提出するものとする。
なお、検査結果において、異常と思われる事項を発見した場合は、直ちに発注者に対し、報告するものとする。
 - ① 採取年月日及び場所
 - ② 検査結果
 - (2) 報告書の大きさは原則として A 4 版とする。
 - (3) 報告書の提出部数は 2 部とする。なお、そのうちの 1 部については、分析計算書（検量線等）を添付するものとする。
- 7 その他
 - (1) この仕様書に疑義があるとき、又は定めのない事項については、発注者と受注者の間で協議して定めるものとする。
 - (2) 業務の実施に伴い排出される温室効果ガスを削減するため、次の温暖化防止の取組に努めること。
 - ① 電気、石油等エネルギー及び水道の使用に当たっては、節減（省エネ）する。
 - ② 使用する資材、機械器具の選定に当たっては、省エネ商品やエコ商品を選択する。
 - ③ 廃棄物（ゴミ）の排出に当たっては、減量化、リサイクルを行う。
 - ④ 自動車を使用する場合には、エコドライブを行う。
 - (3) 受注者は、発注者が提供する器材の使用に当たっては、破損等の無いよう適正な使用に努めること。
なお、発注者から提供のあったガラス器具等については、管理台帳を作成し、2 ヶ月毎に発注者へ提出するものとする。

検査項目（中工場）

項 目	単 位	ボイラー水（缶水）						給 水		復水	プー ル水
		高圧			低圧			高圧	低圧		
		No 1	No 2	No 3	No 1	No 2	No 3				
p H（25℃）		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
硬 度	mg/ℓ							○	○		○
油 脂 類	mg/ℓ							○	○		
溶 存 酸 素	mg/ℓ							○	○		
鉄	mg/ℓ							○	○	○	○
銅	mg/ℓ							○	○	○	○
ヒドラジン	mg/ℓ	○	○	○	○	○	○	○	○		○
電気伝導率	mS/m	○	○	○	○	○	○			○	○
塩化物イオン	mg/ℓ	○	○	○	○	○	○				○
りん酸イオン	mg/ℓ	○	○	○	○	○	○			○	○
シ リ カ	mg/ℓ	○	○	○	○	○	○			○	○
アンモニウムイ オン	mg/ℓ										○

備 考

検査回数：年間４２回検査（休炉している炉の検体は採取しない。）

検査項目（安佐南工場）

項目	単位	ボイラー水		給水	備考
		N o 1	N o 2		
p H （ 2 5 ℃ ）		○	○	○	
濁 度		○	○	○	
M－アルカリ度	m g / ℓ	○	○		
P－アルカリ度	m g / ℓ	○	○		
電 気 伝 導 率	m S / m	○	○	○	
塩 化 物 イ オ ン	m g / ℓ	○	○	○	
り ん 酸 イ オ ン	m g / ℓ	○	○		
カルボヒドラジド濃度	m g / ℓ			○	
（参考）脱酸剤SK-300CH	m g / ℓ			○	
硬 度	m g / ℓ			○	
溶 存 酸 素	m g / ℓ			○	
鉄	m g / ℓ	○	○	○	
銅	m g / ℓ			○	
シ リ カ	m g / ℓ	○	○	○	
備考					
検査回数:年間49回検査(休炉している炉の検体は採取しない。)					

